



# 魅惑のASEAN ガイドブック

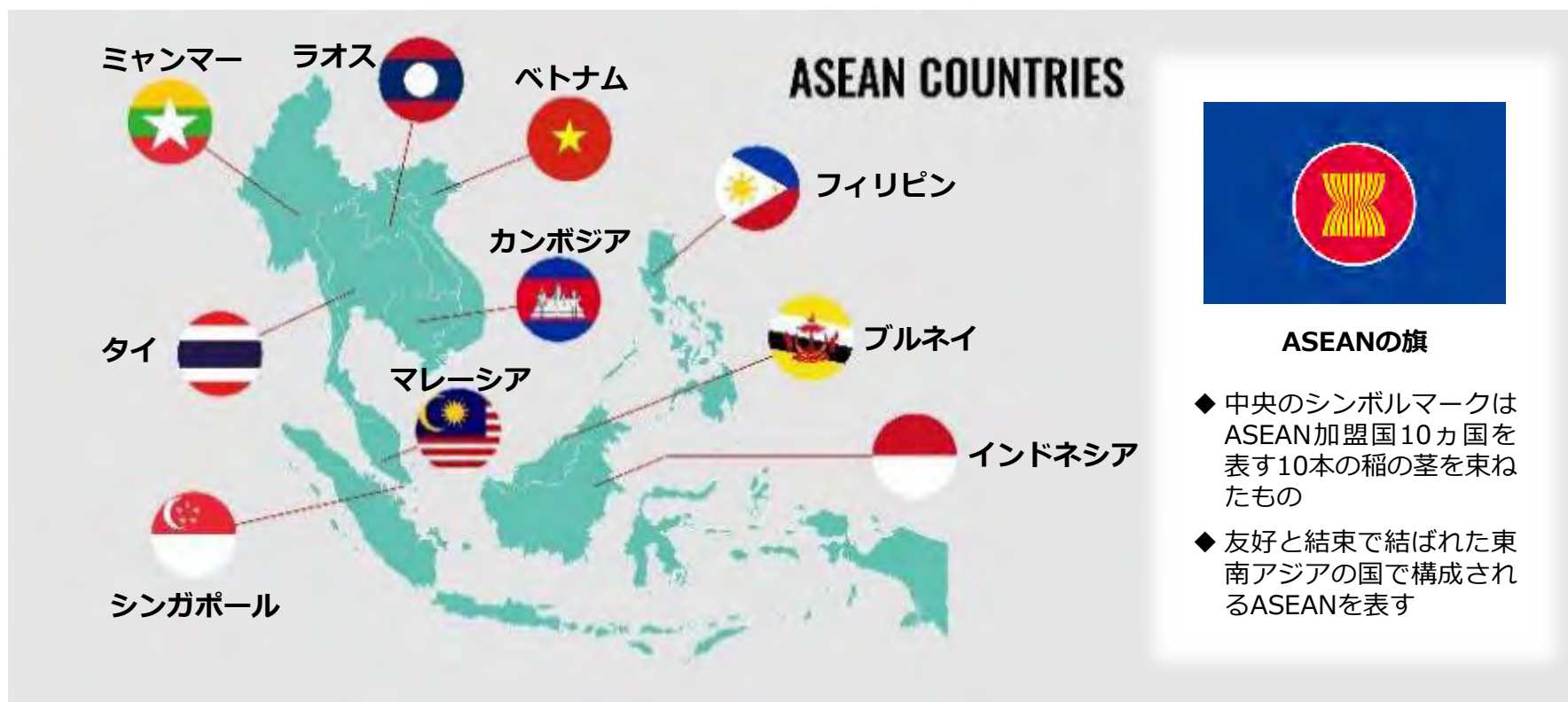
1. ASEANとは？
2. 多様な成長ドライバー
  - ・経済の成長余地
  - ・巨大化する消費市場
  - ・外資の拠点化
  - ・地域統合の強み
  - ・旺盛なインフラ整備需要

[Column] あの頃とは異なる為替を取り巻く環境

3. 実は深い、日本との関係
4. リスクを再確認
5. ASEAN構成メンバー紹介

## 1. ASEANとは？

東南アジア諸国連合（Association of Southeast Asian Nations）の略称。  
政治や経済、安全保障などで協力する東南アジア10カ国の組織。



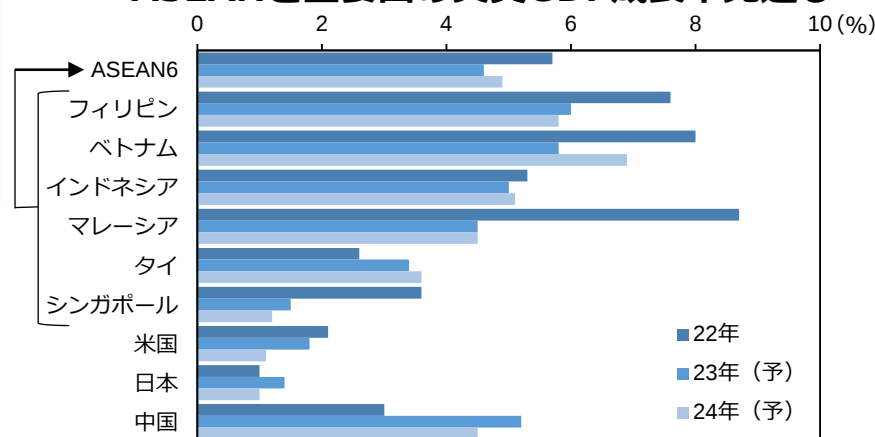
## 1. ASEANとは？

増え始めたASEAN向け投資

### なぜ「今」なのか

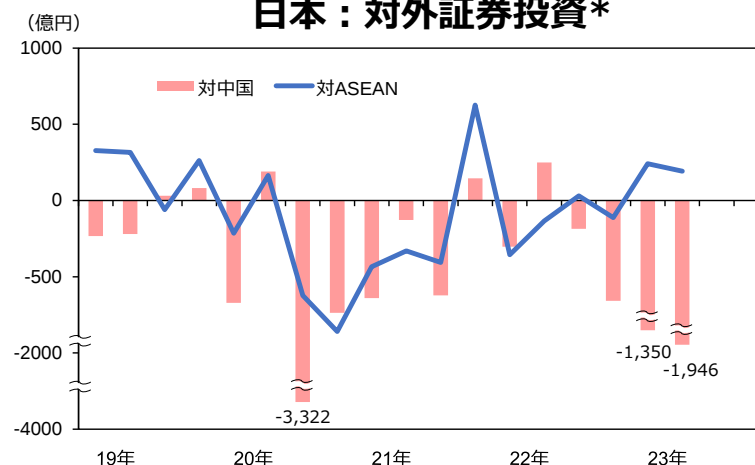
- ◆ 欧米や中国の景気先行き不安が強まるなかで、**持続的に力強い成長**が見込まれるASEANの相対的な魅力が高まっている
- ◆ ASEANには観光資源が豊富な国が多く、ポストコロナの時代に**観光ビジネスの新たな発展や景気の押し上げ効果**などが期待される
- ◆ 米中対立の激化や景気回復の鈍化、不動産危機、など不安材料の多い**中国から逃避する投資マネーの受け皿**となることが想定される

### ASEANと主要国の実質GDP成長率見通し



出所：IMF、Refinitiv 作成：岡三証券

### 日本：対外証券投資\*



\* 株式・投資ファンド持分、ネット、四半期ベース

出所：Refinitiv 作成：岡三証券 2023年は4-6月分まで



## 1. ASEANとは？

## ASEAN加盟国の基本情報一覧

| 国名     | 首都           | 面積<br>(万km <sup>2</sup> ) | 人口<br>(万人) | 平均年齢<br>(歳) | 名目GDP<br>(億ドル) | 一人当たりGDP<br>(ドル) | 実質GDP成長率<br>(前年比、%) | 主な宗教  | 主な輸出先               | 主な輸入先               | 主な輸出品目                           |
|--------|--------------|---------------------------|------------|-------------|----------------|------------------|---------------------|-------|---------------------|---------------------|----------------------------------|
| インドネシア | ジャカルタ        | 191.0                     | 27,550     | 29.4        | 13,188         | 4,798            | 5.0%                | イスラム教 | 1位：中国<br>2位：ASEAN域内 | 1位：中国<br>2位：ASEAN域内 | ・鉱物性燃料<br>・工業製品<br>・機械・輸送機器      |
| タイ     | バンコク         | 51.3                      | 7,170      | 39.3        | 5,362          | 7,651            | 3.4%                | 仏教    | 1位：ASEAN域内<br>2位：米国 | 1位：中国<br>2位：ASEAN域内 | ・工業製品<br>・農産物                    |
| シンガポール | シンガポール       | 0.07                      | 564        | 41.8        | 4,668          | 82,807           | 2.0%                | 仏教    | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | ・再輸出<br>・非石油地場輸出<br>・石油地場輸出      |
| マレーシア  | クアラルンプール     | 33.0                      | 3,394      | 29.9        | 4,079          | 12,364           | 4.5%                | イスラム教 | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | ・電気・電子製品<br>・石油精製品<br>・パーム油・加工製品 |
| ベトナム   | ハノイ          | 32.9                      | 9,819      | 32.0        | 4,065          | 4,087            | 6.5%                | 仏教    | 1位：米国<br>2位：中国      | 1位：中国<br>2位：韓国      | ・電話・同部品<br>・電子製品・同部品<br>・機械・同部品  |
| フィリピン  | マニラ          | 29.9                      | 11,556     | 24.5        | 4,043          | 3,623            | 5.9%                | キリスト教 | 1位：米国<br>2位：日本      | 1位：中国<br>2位：インドネシア  | ・電子製品<br>・鉱物性生產品<br>・農水產品        |
| ミャンマー  | ネーピードー       | 68.0                      | 5,418      | 29.0        | 568            | 1,053            | 2.6%                | 仏教    | 1位：中国<br>2位：タイ      | 1位：中国<br>2位：シンガポール  | ・製造品<br>・農産物<br>・鉱物              |
| カンボジア  | プノンペン        | 18.1                      | 1,677      | 26.5        | 285            | 1,785            | 6.1%                | 仏教    | 1位：米国<br>2位：EU      | 1位：中国<br>2位：シンガポール  | ・衣料・履物<br>・農産物<br>・電子部品          |
| ブルネイ   | バンドル・スリ・ブガワン | 0.6                       | 45         | 31.8        | 166            | 37,667           | 3.3%                | イスラム教 | 1位：日本<br>2位：中国      | 1位：マレーシア<br>2位：中国   | ・天然ガス<br>・原油                     |
| ラオス    | ビエンチャン       | 23.7                      | 753        | 23.8        | 153            | 2,047            | 4.0%                | 仏教    | 1位：タイ<br>2位：中国      | 1位：タイ<br>2位：中国      | ・電力<br>・鉱物<br>・木材製品              |
| ASEAN  | ジャカルタ（本部）    | 448.6                     | 67,946     | 30.8        | 3,597          | 6,329*           | 4.8%                | —     | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | 1位：ASEAN域内<br>2位：中国 | —                                |

※実質GDP成長率は2023-2025年の平均値、ASEANのみ2024-2025年の平均値、平均年齢、主な輸出入先はASEANのみ2021年、その他データはすべて2022年

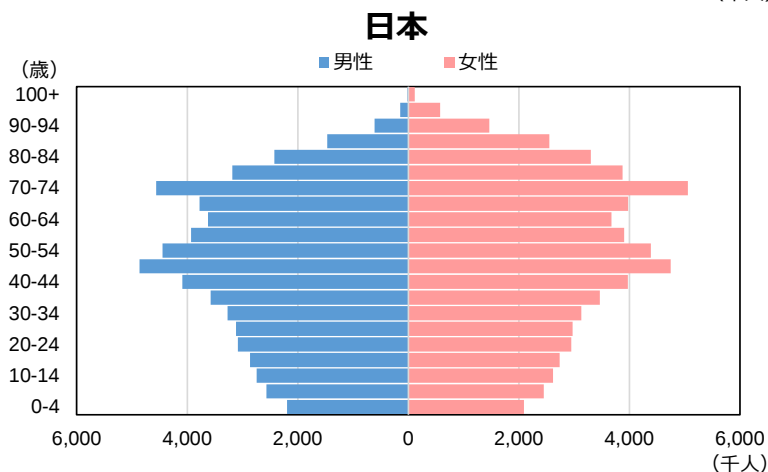
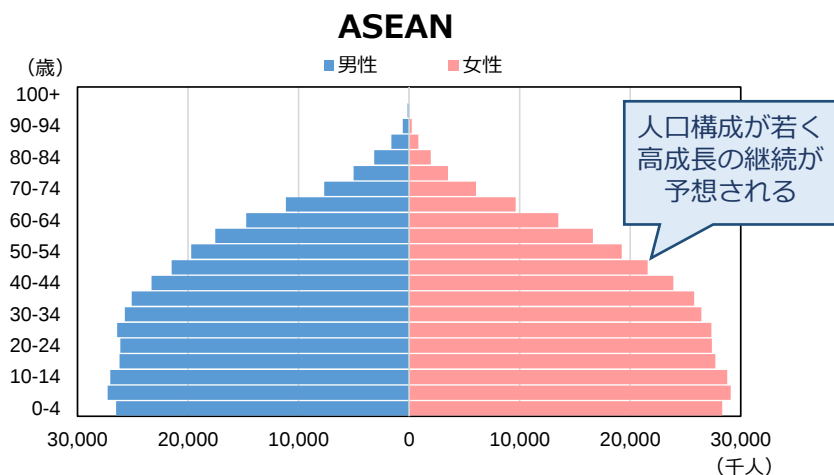
\*ASEAN5（インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール）

出所：外務省、世界銀行、国際連合、IMF等 作成：岡三証券



## 1. ASEANとは？

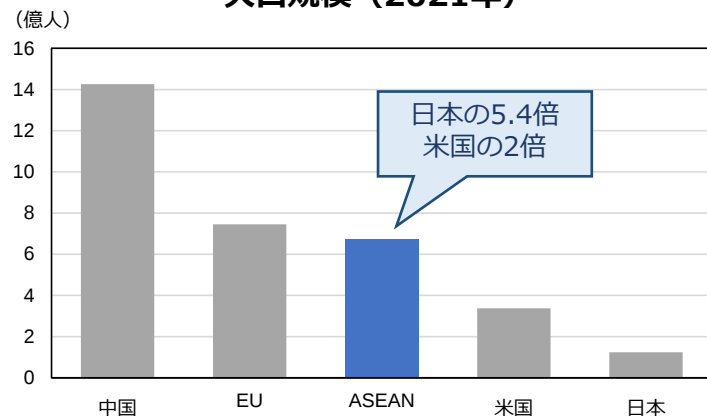
## 人口ピラミッド (2021年)



出所：国際連合「World Population Prospects 2022」作成：岡三証券

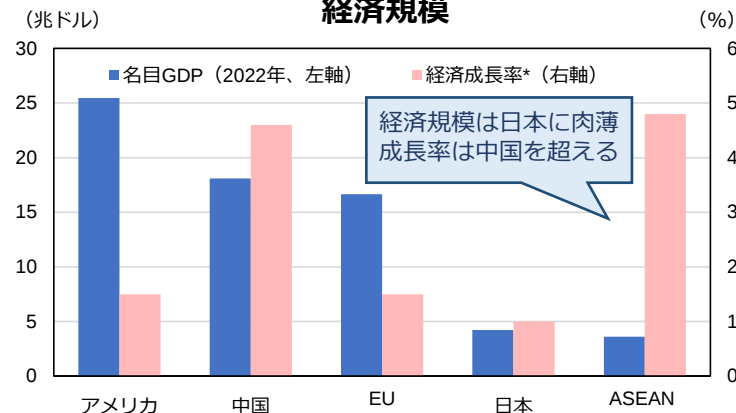
## 世界主要国・地域の比較

## 人口規模 (2021年)



出所：国際連合「World Population Prospects 2022」作成：岡三証券

## 経済規模



\* 2023-2025年の平均成長率予想、ASEANは2023-2024年

出所：Refinitiv 作成：岡三証券



## 2. 多様な成長ドライバー

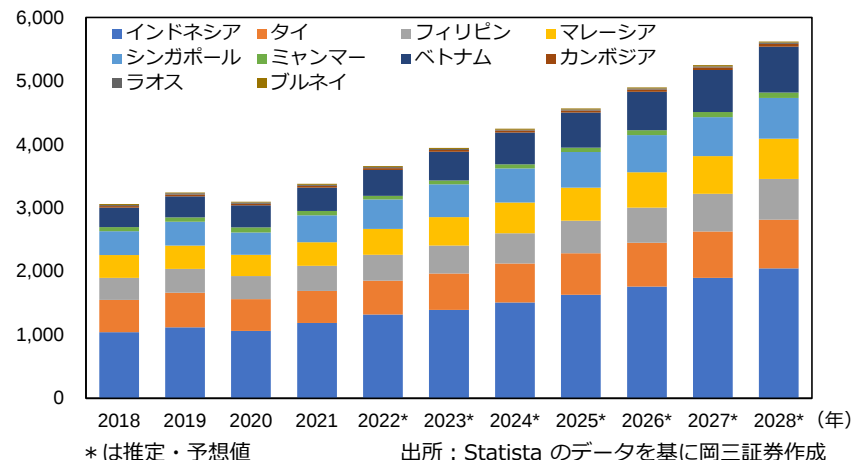
大きな伸び代

### 経済の成長余地

- ◆ ASEANの経済規模は右肩上がりでの拡大が見込まれている。**名目GDPは2028年までに2021年比で1.6倍超への拡大が見込まれている**
- ◆ ASEAN全体では、世界の**経済規模ランキング上位に浮上**しており、2022年はG20のうち6位。ASEAN経済の存在感が高まっている
- ◆ **経済の成長ドライバーは多様かつ豊富**
  - ・ 巨大化する消費市場
  - ・ 外資の「拠点化」
  - ・ 地域統合の強み
  - ・ 旺盛なインフラ整備需要

### ASEANの名目GDPの推移

(十億ドル)



### G20の名目GDPランキング

|    | 2007年 | 2014年 | 2022年 |
|----|-------|-------|-------|
| 1  | EU    | 米国    | 米国    |
| 2  | 米国    | EU    | 中国    |
| 3  | 日本    | 中国    | EU    |
| 4  | 中国    | 日本    | 日本    |
| 5  | ドイツ   | ドイツ   | ドイツ   |
| 6  | 英国    | 英国    | ASEAN |
| 7  | フランス  | フランス  | インド   |
| 8  | イタリア  | ASEAN | 英国    |
| 9  | カナダ   | ブラジル  | フランス  |
| 10 | ブラジル  | イタリア  | ロシア   |
| 12 | ASEAN |       |       |

\*米ドルベース

出所: Refinitiv 作成: 岡三証券



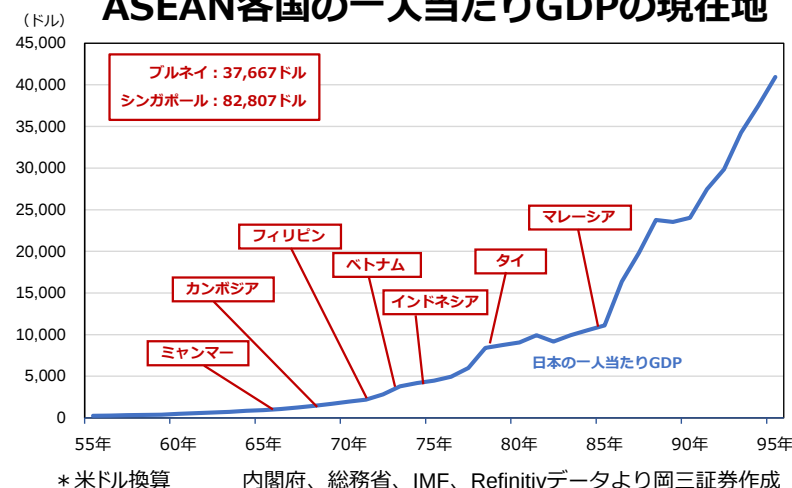
## 2. 多様な成長ドライバー

増加する中間所得者層

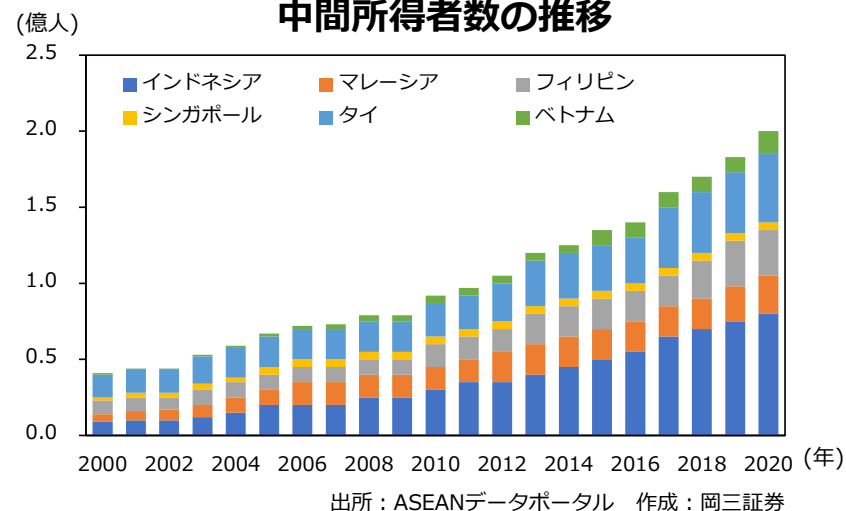
### 巨大化する消費市場

- ◆ 一人当たりGDPは、多くのASEAN諸国で耐久消費財（家電や自動車など）の普及が大きく進むとされる**3,000ドルを超過**。日本では1960年代後半～1970年代の水準に相当する
- ◆ ASEANの多くの国では個人所得の増加が続いており、**ASEAN主要国の中間所得者数は2億人**に達している
- ◆ 若い人口比率の高い国が多く、中間所得者層の拡大と共に、**消費市場は今後高度化が進もう**

### ASEAN各国の一人当たりGDPの現在地



### 中間所得者数の推移

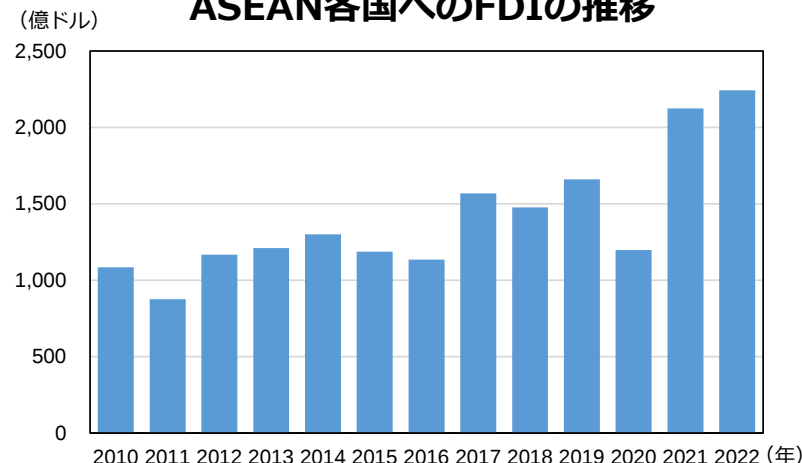


## 2. 多様な成長ドライバー

### 豊富な労働力、ネクストチャイナ 外資の「拠点化」

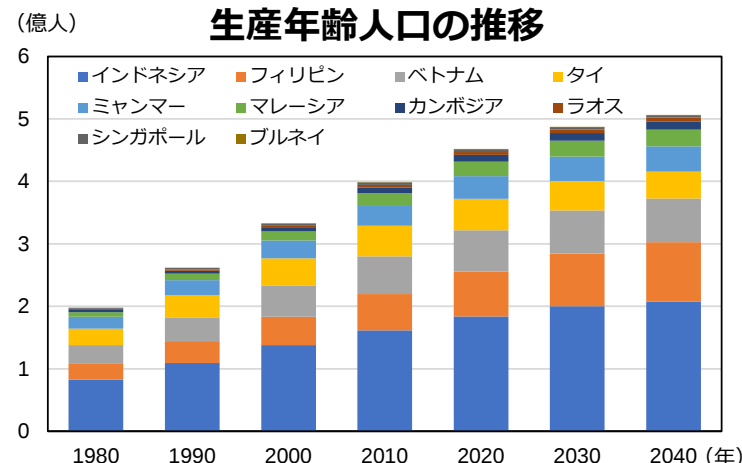
- ◆ 世界的に製造拠点の中国一極集中リスクが意識されるなか、ASEANは「ネクストチャイナ」候補として有望視されている
- ◆ **ASEAN諸国への直接投資（FDI）は拡大傾向**にある。電子部品や半導体、自動車分野、運輸・倉庫分野、IT・ソフトウェアなどへの投資が活発化
- ◆ インドネシアやフィリピン、ベトナムを中心に**労働生産人口は豊富で、今後も増加**が見込まれている。**賃金も中国より安価**であることも魅力を高めている

### ASEAN各国へのFDIの推移



出所：ASEANデータポータル 作成：岡三証券

### 生産年齢人口の推移



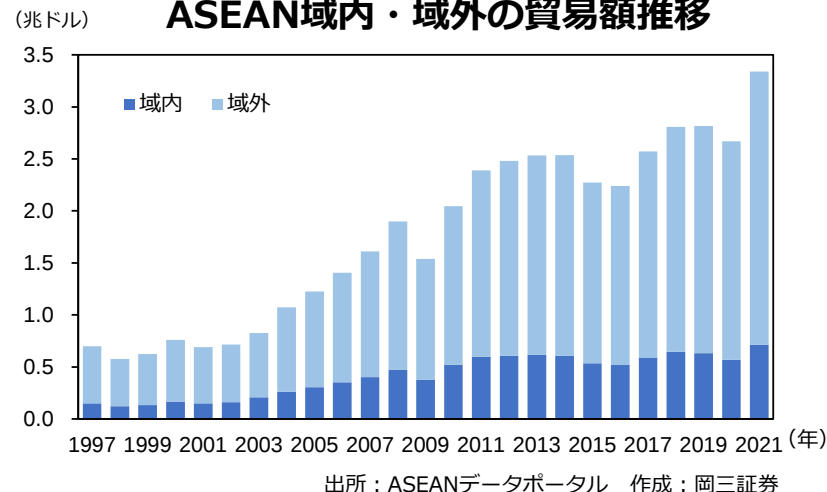
\* 2030年以降は予想 出所：国際連合「World Population Prospects 2022」作成：岡三証券

## 2. 多様な成長ドライバー

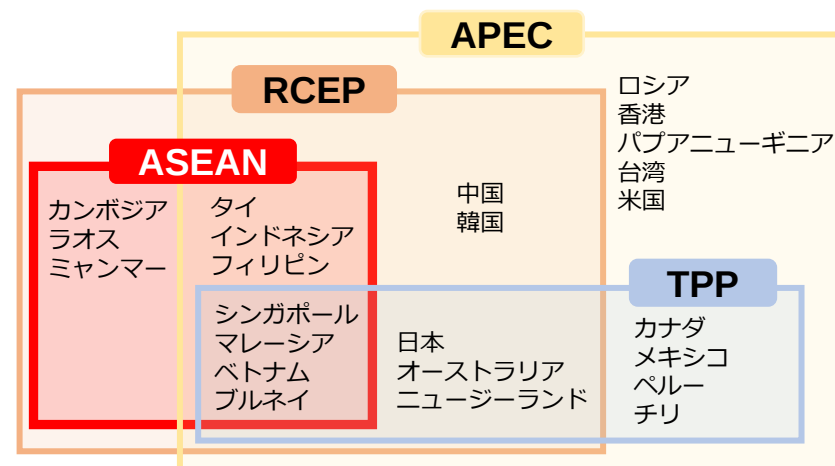
### 活発化するASEAN域内・域外との取引 地域統合の強み

- ◆ 2015年末に発足したASEAN経済共同体（AEC）の土台は、1992年に6カ国で合意したASEAN自由貿易地域（AFTA）構想
- ◆ ASEAN域内・域外の貿易額は2021年までの**20年間で4.8倍へ拡大**。域内では関税撤廃等による貿易自由化が後押ししている
- ◆ 周辺地域との自由貿易協定（FTA）等の推進にも注力おり、日本を含むアジア太平洋地域を中心に多くの国々と経済連携を強化。地域の**貿易・投資の促進、サプライチェーン拡大**などが期待される

### ASEAN域内・域外の貿易額推移



### ASEANと経済連携・構想



出所：各種資料 作成：岡三証券



## 2. 多様な成長ドライバー

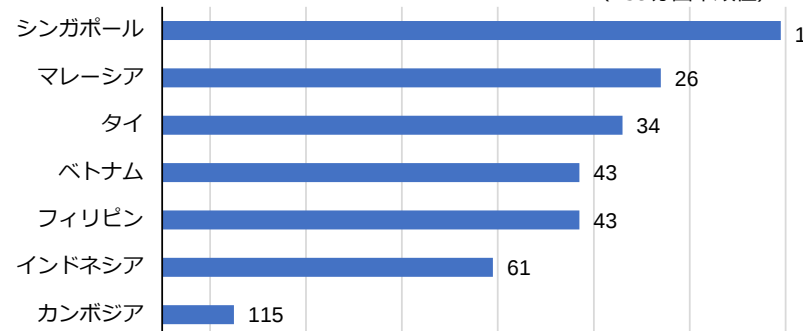
### インフラ整備に商機

## 旺盛なインフラ整備需要

- ◆ 一部の国を除けば、**ASEANのインフラ整備は不十分**。世界銀行「物流パフォーマンス指数」では、多くの国が低水準
- ◆ アジア開発銀行（ADB）によると、ASEAN加盟国は経済目標の達成と気候変動に対応するため、**インフラ整備に毎年1,840億ドル以上を投資する必要がある**。2023年から2030年までに少なくとも総額2兆8,000億ドル（約410兆円）の投資をすることになると指摘されている
- ◆ ASEAN各国では、**インフラ整備を伴う巨大プロジェクト**が動き出しており、経済活性化への貢献が見込まれる

## 世界銀行「物流パフォーマンス指数」の順位

(139カ国中順位)



出所：世界銀行「International LPI 2023」 作成：岡三証券

## ASEAN各国のインフラ整備計画

| 国名              | 内容                                                                                         |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| インドネシア          | ・ 2024年から首都機能の一部をヌサンタラ（カリマンタン島東部）に移すプロジェクトが始動                                              |
| シンガポール<br>マレーシア | ・ マレーシア南部ジョホール州とシンガポールを結ぶ高速輸送システム（RTS）鉄道の建設<br>・ 2026年末までに完成・運行する見通し                       |
| フィリピン           | ・ 道路や交通網整備、灌漑や給水、洪水対策といった水資源管理を主とするインフラ開発に関する旗艦案件を承認と発表<br>・ 総計9兆ペソ（約21.6兆円）規模となる見込み       |
| ベトナム            | ・ ファム・ミン・チン首相は7月26日付文書で、南北高速鉄道プロジェクトの投資方針案を策定する指導委員会の設置を交通運輸省に指示<br>・ 投資額は推計587億ドル（約8.6兆円） |

出所：各種資料 作成：岡三証券

[Column] あの頃とは異なる為替を取り巻く環境

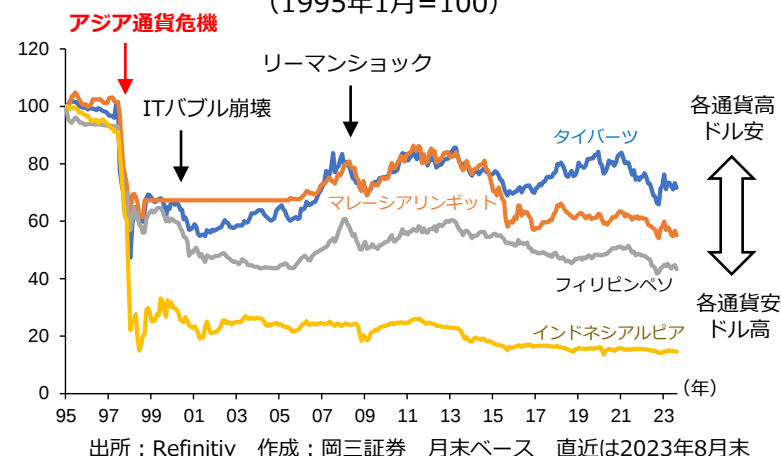
もう繰り返さない誓い

## 通貨危機を防ぐ取り組み

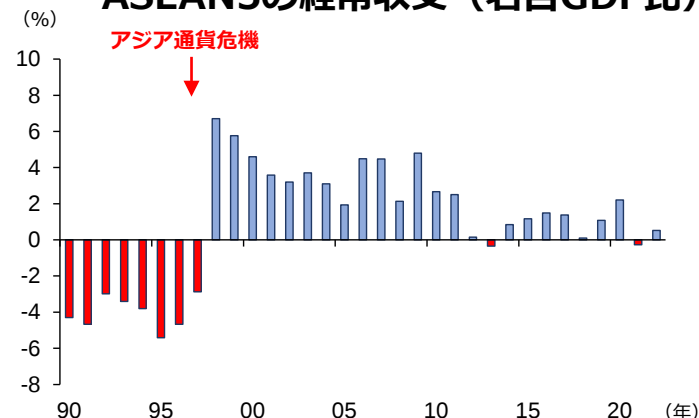
- ◆ 1997年7月以降、タイを震源としてASEAN諸国の通貨が大幅に下落し経済危機に陥る「アジア通貨危機」が発生した
- ◆ 当時のASEAN諸国は大幅な経常赤字。そのこと等に注目した投機筋が通貨売りを仕掛け、タイバーツ等は米ドルとの固定相場制の放棄や大幅下落に追い込まれた
- ◆ 他方、**現在の経常収支は改善**している。また、ASEAN諸国と日中韓で危機時に外貨資金を融通し合う仕組みも創設された
- ◆ 油断は禁物だが、以前と比較して**通貨危機は発生しづらくなっている**とみる

### 主要ASEAN通貨の対ドル相場

(1995年1月=100)



### ASEAN5の経常収支（名目GDP比）





### 3. 実は深い、日本との関係

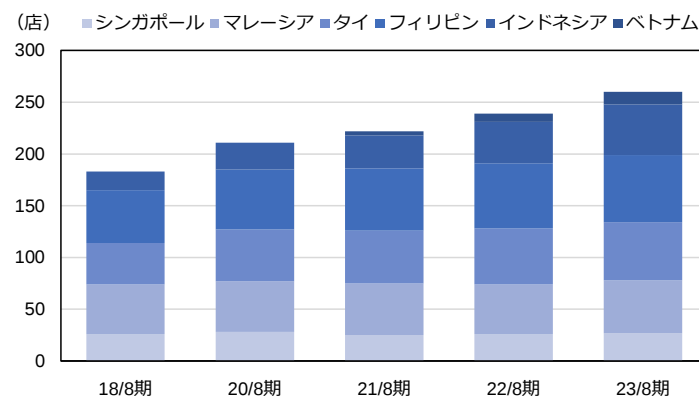
ASEANにとって日本は最大の援助国

## 相互に恩恵をもたらす関係に

- ◆ 2023年は**日本ASEAN友好協力50周年**の年。  
日本はODA（政府開発援助）を通じてASEAN  
の開発支援に注力してきた
- ◆ 日ASEANは両国・地域との関係を現在の「戦略  
的パートナーシップ」から「**包括的戦略的  
パートナーシップ**」へ格上げを目指す
- ◆ 日本企業の進出も相次いでおり、足元の調査\*  
でも**ASEANにおける事業規模の拡大を計画し  
ている企業が増加**
- ◆ 親日的な国が多く、近年は**ASEANからの訪日  
客も増加傾向**にある

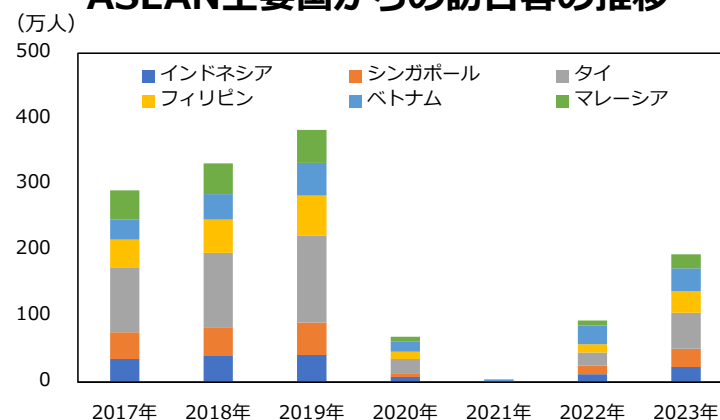
\* JETRO「2022年度海外進出日系企業実態調査」アジア・オセアニア編

### ASEAN主要国におけるユニクロ店舗数



出所：ファーストリテイリング会社資料 作成：岡三証券

### ASEAN主要国からの訪日客の推移



\* 2023年は7月分まで 出所：日本政府観光局（JNTO） 作成：岡三証券



#### 4. リスクを再確認

宗教や民族が多様だからこそ

### 地政学リスク

- ◆ 民族対立：マレーシアやインドネシアのマレー系と中国系の対立など
- ◆ 宗教対立：イスラム過激派によるテロ事件がマレーシアやフィリピン、インドネシアなどで度々発生
- ◆ 政治対立：タイの軍事クーデターや王室制度改革の声

高成長だからこそ

### インフレリスク

- ◆ 潜在成長率が高く、人口が増加基調であるASEAN諸国ではインフレリスクが高まりやすい傾向がある
- ◆ 適切な金融政策、財政政策によって、インフレ率を抑制しながらの高成長の実現が求められる

台風、地震、干ばつなどが頻発

### 自然災害リスク

#### 世界リスク指数

| ランク | 国      | 世界リスク指数 | 危険性   |
|-----|--------|---------|-------|
| 1   | フィリピン  | 46.82   | 非常に高い |
| 3   | インドネシア | 41.46   |       |
| 6   | ミャンマー  | 35.49   |       |
| 12  | ベトナム   | 25.85   |       |
| 23  | タイ     | 20.91   |       |
| 35  | マレーシア  | 14.36   | 高い    |
| 65  | カンボジア  | 8.42    |       |
| 124 | ラオス    | 2.91    | 非常に低い |
| 165 | ブルネイ   | 1.34    |       |
| 187 | シンガポール | 0.81    |       |

出所：IFHV「The WorldRiskReport 2022」 作成：岡三証券

- ◆ ASEAN地域は地震や台風など自然災害が発生しやすい
- ◆ 世界リスク指数では、ASEANの主要7カ国が危険性が高いと評価されている
- ◆ 今後は気候変動による影響にも注意が必要となろう

## 5. ASEAN構成メンバー

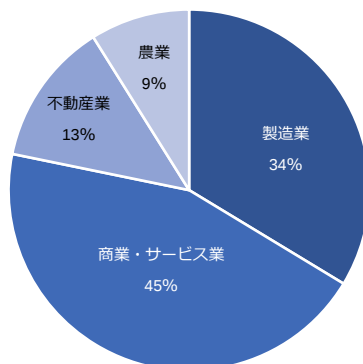
微笑みの国、アジア有数の工業国

### タイ



- ◆ 先史時代の貴重な遺跡「バンチェン遺跡」などを含む世界遺産を多く有し観光資源が豊富。主力の観光業が経済全体を下支え
- ◆ 外国からの直接投資を積極的に受け入れ、自動車関連や電子・電気機器などの製造業が発展してきた

タイ：産業別名目GDP構成比



\* 23年1-3月期

出所：Statista のデータを基に岡三証券作成

世界有数の金融センター

### シンガポール



- ◆ 「マリーナベイ・サンズ」や「マーライオンパーク」などの観光地が有名
- ◆ 外資誘致で産業を育成。高付加価値の製造業が発達。国際金融センターとしての競争力が向上。金融機関などでアジア拠点を香港からシンガポールに移す動きが顕在化

世界金融センター総合競争力ランキング

| 順位 | 都市       | ポイント |
|----|----------|------|
| 1  | ニューヨーク   | 760  |
| 2  | ロンドン     | 731  |
| 3  | シンガポール   | 723  |
| 4  | 香港       | 722  |
| 5  | サンフランシスコ | 721  |
| 6  | ロサンゼルス   | 719  |
| 7  | 上海       | 717  |
| 8  | シカゴ      | 716  |
| 9  | ボストン     | 715  |
| 10 | ソウル      | 714  |

\* 23年3月調査

出所：Statista のデータを基に岡三証券作成

## 5. ASEAN構成メンバー

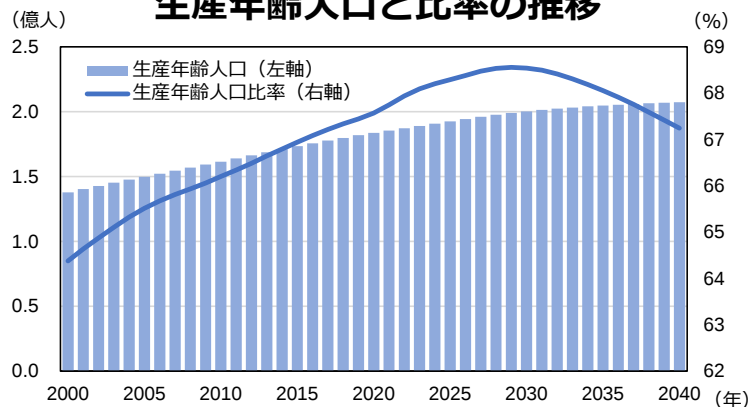
人口2.7億人！ASEAN随一の人口大国

### インドネシア



- ◆ 約1万8千もの島から成り、多くの民族から構成されている多様性の国。バリ島や世界文化遺産「ボロブドゥール」が有名
- ◆ 働き・消費する生産年齢人口は増加基調が続く見込み。首都をジャカルタから移す「遷都」が本格始動。移転費用は約4兆円に上る

#### 生産年齢人口と比率の推移



\* 2021年 出所：国際連合「World Population Prospects 2022」作成：岡三証券

資源と多様性に富む国

### マレーシア



- ◆ 首都クアラルンプールのシンボル「ペトロナス・ツインタワー」の右側は日本企業が建設。多民族国家ならではの歴史を感じる
- ◆ 電子・電気産業の集積に強みがあるほか、ハラル食品やイスラム金融など「イスラムビジネスの拠点」として存在感が高まる

#### 世界のハラル食品市場規模の推移



\* 2019年以降は推定・予想 出所：Statista のデータを基に岡三証券作成

## 5. ASEAN構成メンバー

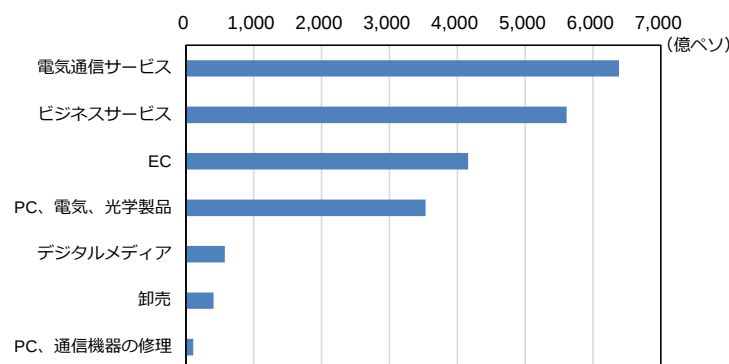
英語人材が豊富、デジタル経済も発展

### フィリピン



- ◆ セブ島などはリゾート地としてだけでなく、留学先としても人気
- ◆ デジタル経済の発展が目覚ましく、近年はGDPの約1割を占める。基幹産業であるビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）がデジタル需要拡大に繋がっている

#### フィリピン：デジタル経済の内訳



\* 2022年

出所：Statista のデータを基に岡三証券作成

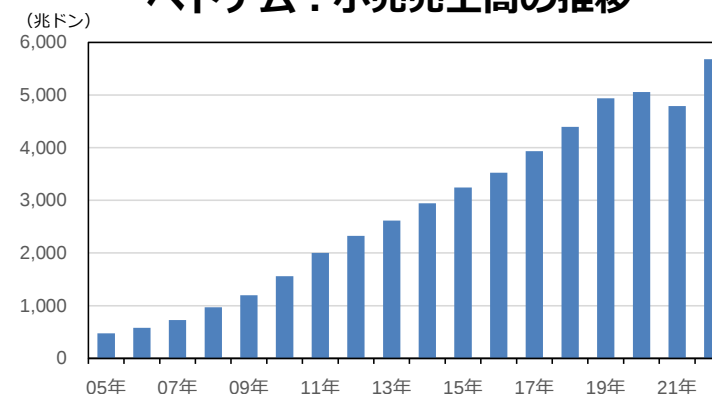
ネクストチャイナの筆頭格

### ベトナム



- ◆ 全長3,260キロに及ぶ海岸線等の地理的条件は貿易や観光産業において強み。港湾都市「ダナン」や「ハノイ」などで知られる
- ◆ 製造業、サービス業へ直接投資が増え、産業の多様化が進むほか、中間所得者の増加に伴い消費市場の拡大が続く

#### ベトナム：小売売上高の推移



出所：Refinitiv 作成：岡三証券 直近は2022年分

## 5. ASEAN構成メンバー

ASEAN唯一の内陸国

### ラオス



#### ポイント

- ◆ **観光地**：仏教寺院「タート・ルアン」
- ◆ 「東南アジアのバッテリー」と呼ばれる水力発電大国で電力を輸出。2021年に中国・ラオス鉄道が開通し、貨物輸送量は順調に増加

資源に恵まれた豊かな国

### ブルネイ



#### ポイント

- ◆ **観光地**：水上集落「カンポンアイール」
- ◆ 豊富な天然資源（石油・天然ガス）を日本など世界に輸出している。高い経済水準と充実した社会福祉を実現

軍政が続く

### ミャンマー



#### ポイント

- ◆ **観光地**：仏教遺跡「バガン遺跡」
- ◆ 近年では天然ガス輸出の拡大が外貨獲得に貢献。ただし、2021年に軍事クーデターが発生、国際社会からの信頼回復には時間を要する

タイプラスワンの投資先候補

### カンボジア



#### ポイント

- ◆ **観光地**：世界遺産「アンコール遺跡」
- ◆ ベトナムとタイを結ぶ南部回廊の中継地。農業、製造業、観光業が主力。中国向け輸出入が上位で経済の緊密度が高い

## 重要な注意事項

### 免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

### 地域別の開示事項

#### 【日本】

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### ＜有価証券や金銭のお預かりについて＞

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預かりする場合は、口座管理料をいただきません。外国証券(円建て債券および国内の金融商品取引所に上場されている海外ETFを除きます。)をお預かりする場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、電子交付サービスを契約している場合には、口座管理料は1年間に2,640円(税込み)とします。なお、当社が定める条件を満たした場合は外国証券の口座管理料を無料といたします。上記以外の有価証券や金銭のお預かりについては料金をいただきません。証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### ＜株式＞

- ・株式(株式・ETF・J-REITなど)の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は最大2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。
- ※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・REITは、運用する不動産の価格や収益力の変動、発行者である投資法人の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により価格や分配金の変動し、損失が生じるおそれがあります。

#### ＜債券＞

- ・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

#### <個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

#### <転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

#### <投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。  
お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))  
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))  
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)  
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

#### <信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は最大2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

## 岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本暗号資産取引業協会

### 【日本以外の地域における本レポートの配布】

本レポートは、参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意する必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2023年1月改定)